



白寿祝状授与 11/2

津澤ナミさんが白寿を迎え、清水三石総合支所長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。
津澤さんは岩手県出身で、昭和12年に故・友次郎さんと結婚し、5男6女に恵まれました。平成21年12月からケアハウスに入所。入所前までは自宅で野菜作りなどを行っていました。99歳の誕生日を迎えたこの日は、お祝いに駆けつけた子どもたちに囲まれ「ありがたいですね」と喜んでいました。



第14回健康まつり 10/29

心と体の健康づくり(栄養)をテーマに『第14回新ひだか町総合ケアセンター健康まつり』が同センターで開かれました。
指先から血液を採取し、血液のサラサラ度をチェックするマイクロアイや血管年齢測定などの健康チェック、血糖値をテーマにした講演会が行われたほか、射的やヨーヨー釣りなどの縁日やスタンプラリーなどの催しも開かれ、会場は多くの家族連れでにぎわいました。



家庭教育を考える集い 10/24

町教育委員会による『家庭教育を考える集い』が町公民館で開かれ、子育て中の女性を中心に36名が参加しました。
「子育てコーチング(コミュニケーションを通して行動を促す技術)」講座を道内で開いている石谷二美枝さんが「ほめる子育てより、認める子育てをしよう!」と題した講演を行いました。石谷さんは「子どもに共感するコミュニケーションが大切」と話し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



北海道ハンドベルフェスティバル 11/12

『第27回北海道ハンドベル・フェスティバル』が町公民館で開かれ、約200人が来場しました。
年1回全道各地で開かれている同フェスティバルで、一番古くから出演している町内の静内ペテカリの園ハンドベル・リンガーズや静内桜風園のS-Style Ringersをはじめ、札幌、函館などの9団体1個人、127人が出演。「小さな世界」や「大きな古時計」などの曲がハンドベルの繊細な音色で奏でられ、会場から大きな拍手が送られました。



中島興世講演会 10/29

読書週間にちなみ『中島興世講演会』が女性センター・みらいで開かれ、約30名が参加しました。
前・恵庭市長で、元恵庭市立図書館長の中島さんは「赤ちゃんに優しい図書館からはじまる地域づくり」と題し、図書館長時代に全国に先駆けて行ったブックスタートや小学校での朝読書などの事業により、不登校児が激減した事例を紹介。参加者は講演を通し、地域にふさわしいこれからの図書館のあり方を考えました。



プチグルメツアー 10/29

町内で生産される地場産物の良さを知らしてもらい、地産地消を推進するため『2011地産地消プチグルメツアー』が行われ、町内から62名が参加しました。
参加者は、静内豊畑の玄米ばら集出荷施設や東静内の養魚施設などを見学。昼食には、ご当地グルメの桜口コモコやイカ飯、イクラミニ丼など地場産物を使った料理を堪能しました。



第6回新ひだか町民芸術祭 10/16~11/13

町公民館でのバンド祭りを皮切りに『第6回新ひだか町民芸術祭』が静内・三石両地区で華やかに開かれ、作品展示や芸能発表、茶会などが行われました。
作品展示では、絵画や書道、写真など子どもから大人まで、多数の力作が並び、来場者の目を楽しませました。また、芸能発表では、迫力のあるダンスや音楽、華麗な舞踏などに会場から大きな拍手が送られ、来場者は芸術の秋を満喫していました。



第11回JBCクラシック連覇 11/3

『第11回JBCクラシック(Jpn I)』で岡田スタッド(静内目名)生産馬のスマートファルコンが優勝を飾り、史上4頭目の連覇を果たしました。



世界ソフトテニス選手権大会優勝 11/1

日本代表選手として韓国で開かれた『第14回世界ソフトテニス選手権大会』に出場した新ひだか町出身の佐々木舞さんが、女子ダブルスで、見事優勝を果たしました。



秋季消防演習 10/19

日高中部消防組合三石消防団による秋季消防演習が行われ、団員は建物火災を想定した防ぎよ訓練や救出活動訓練などを通し、防災技術の向上に努めました。



文化講座「英語でハロウィン」 10/17

文化講座「英語でハロウィン」が町福祉センターで開かれ、仮装をした親子5組が参加。ナイフを使って、カボチャに目や口を掘りランタン作りを行い、ハロウィンを楽しみました。